

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

市民の健康と生活習慣状況、ニーズを把握するとともに東日本大震災の影響を把握し、次期健康づくりプラン策定等の施策に反映させる。

2. 調査客体と調査方法

《一般》

対 象	18歳から84歳（年齢基準日：平成23年10月1日）
抽出方法	地区(支所)別・各年齢層(5歳階級)・性別に偏りが無いように人数を按分し、住民基本台帳から無作為抽出した6,016名
調査方法	郵送調査法
調査期間	平成23年10月 送付、回収

《追跡》

対 象	平成17年度調査で回答のあった者、24歳から84歳 (年齢基準日：平成23年10月1日)
抽出方法	対象者を各年齢層(5歳階級)の人口分布と類似するように按分し、無作為抽出した1,508名
調査方法	郵送調査法
調査期間	平成23年10月 送付、回収

《学童思春期》

対 象	小学生・中学生・高校生
抽出方法	市内の全小・中・高校を対象に学年組を統計的に指定した2,773名 (在籍日：平成23年9月1日現在)
調査方法	各学校長宛に配布依頼し、留置き回収 小学1～4年生は保護者記入依頼、小学5年生以上は本人記入
調査期間	平成23年10月 配布・回収

3. 調査項目（震災後の変化について）

区分	質問項目	回答	一般追跡	小1～4年生	小5・6年生	中・高校生
震災後の変化	生活習慣の変化の有無（1. 栄養・食生活、2. 身体活動・運動習慣、3. 休養・睡眠、4. 飲酒、5. たばこ、6. その他）	選択	○			
	現在も続いている変化、目立つこと	複数選択		○	○	○
	変化した食生活	複数選択		○	○	○
	悪化した食生活	複数選択	○			
	減った身体活動・運動習慣	複数選択	○	○	○	○
	悪化した睡眠・休養・精神状態	複数選択	○			
記入者		選択	○	○		
記入日		記入	○	○	○	○

4. 集計方法

データ入力には委託業者が実施。集計は、表計算ソフト「エクセル」及びエクセルアンケート集計解析ソフト「エクセルアンケート太閤」を使用し、健康推進課の担当者が福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座の指導のもとに実施した。(学童思春期の対象者については福島市に在住と答えた者のみ集計)

なお、割合は小数点2位を四捨五入したため合計で100.0%にならない場合がある。

5. その他

本報告書については、震災後の変化の質問項目について集計したものを掲載し、その他の福島市民の健康と生活習慣調査の結果については、別冊にて報告する。